

## 実績確認概要書

平成 26 年 4 月 25 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

### 1 . 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木材乾燥における木質バイオマスボイラの導入
承認番号	JCDM-PJKC0249
排出削減事業者名	佐伯広域森林組合
排出削減共同実施事業者名	株式会社イースクエア
その他関連事業者名	-
事業実施場所	佐伯広域森林組合 (大分県佐伯市宇目大字南田原 14 番地-1)
事業の概要	本事業は、木材乾燥用のボイラを木質バイオマスボイラに更新し、化石燃料ボイラを導入した際に想定される CO2 排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2009-2017 年度 : 2,018tCO2/年 (事業実施期間合計 16,144 t CO2)
クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2017 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2 . 本実績確認の対象期間

2013 年 10 月 1 日 ~ 2014 年 3 月 31 日 (第 7 回目実績報告)

### 3 . 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,261tCO <sub>2</sub> (2013年10月1日～2014年3月31日)
-------	---

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 実績対象期間の確認 第6回目の実績確認期間と重複せず、適切に設定されていることを確認した(2013年10月1日)。 また、排出削減量の算定は、この対象期間を基に適正に計算されている。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後バイオマスボイラーは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間におけるボイラー給水量、ボイラー蒸気圧、ボイラー給水温度を記録した作業日報等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリングの方法 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2) 活動量の正確性 ボイラー給水量、ボイラー給水温度等をそれぞれ計器より読み取りボイラーの生成熱量を計算していること、更にリーケージ排出量となる粉砕機の稼働時間を含め担当者が作業日報へ記録・保管していることを、根拠資料との突合、検算、事業者への質問により確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。 木質バイオマスについては、事業所内で発生するものであり、輸送におけるリーケージ排出量はないことを確認した。 補機の電力使用に伴う排出量については、排出量削減量の5%以下であることも併せて確認している。</p>

算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	本実績確認の対象期間は 2013 年 10 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が、クレジット認証期間の終了日である 2017 年 3 月 31 日を超えていないことを確認している。
---------------------------	--

5 . 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価  
特になし

6 . 特記事項

本モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量について、原油換算 679.8KL であることを確認した。

以上